

学年	2 学年	実施期間	5 月 2 5 日 (月) ~ 5 月 2 9 日 (金)
----	------	------	-------------------------------

教科	科目名	単元又は題材	学習の目標	課題等	評価について
国語	現代文 B	小説を読む。	○場面や登場人物を的確に捉え、人間について考察する。 ○語句の意味、用法及び表記の仕方 を理解し、語彙を豊かにする。	○教科書のP117～「バックストローク」第2・3段落を丁寧に読む。 ○登場人物について、人物像や心情を読み取る。 ○登場人物の心理をつかみ、更にその背景を考える。 ○学習の目標を意識して見通しを立て、学習活動について振り返りを記入する。 ○課題シートはPDFファイル2枚を打ち出して記入し登校の際に提出する方法と、グーグルクラスルームで受信し必要事項を打ち込み送信する方法のどちらでもよい。	○提出された文章により、目標に記された「読むこと」及び「関心・意欲・態度」を評価する。 ※ この学習では、「文章にまとめる」書く活動を行うが、「文章をどのように読んだのか」読む力を評価する。 【評価規準】 ・文章や作品を読み、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしようとしている。(関心・意欲・態度) ・文章や作品を読み、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしている。(読む能力)
	古典 A	○古典に親しむ	○古典作品を読み、味わう。	○教科書のP28～「通ひ路の関守」を読んで、共感したり、疑問に思ったり、自分なりに考えたりしたことをA4版レポート用紙1枚にまとめる。 ○文章を読むのに必要な語句の意味や用法等を確認するため、辞書等の補助教材を活用し、調べたことについてもまとめる。その際、インターネット等を活用することも考えられる。 ○学習の目標を意識して見通しを立て、学習を進める中で気付いた点や工夫した点等を随時記入する。	○提出された文章により、目標に記された「読むこと」及び「知識・理解」を評価する。また、提出された文章と振り返りにより、学習の進め方について試行錯誤した点等を「関心・意欲・態度」として評価する。 ※ この学習では、「文章にまとめる」書く活動を行うが、「文章をどのように読んだのか」読む力を評価する。 【評価規準】 ・古典作品を読み、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしようとしている。(関心・意欲・態度) ・古典作品を読み、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしている。(読む能力) ・語句の意味、用法及び表記の仕方を理解し、語彙を豊かにしている。(知識・理解)
	古典研究	大和物語「姨捨」	○文や文章の組立、語句の意味、用法などを理解する。	○「姨捨」プリント①とプリント②を取り組む。(PDFを印刷して、取り組む。) ①古文単語を調べて、記入する。 ②現代語訳をおこなう。 ③古典文法を明快古典文法を活用して、取り組む。 印刷できない生徒は、本文を書き、ノート(ルーズリーフ)で取り組む。	○提出された文章により、目標に記された「関心・意欲・態度」「知識・理解」を評価する。 【評価規準】 ・文や文章の組立、語句の意味、用法などを手掛かりにして読み取ろうとしている。(関心・意欲・態度) ・文や文章の組立、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解している。(知識・理解)

地理歴史	世界史 B	○西アジア世界と地中海世界 5 ローマ帝国#2	○ローマ帝国の発展と変容について、「ローマの平和」という語を手がかりに、対外関係や社会の変化とあわせて理解する。 ○キリスト教の成立と拡大について、同時代の人びとの感情を想像しながら、理解する。 ○ローマ文化と現代とのつながりについて自身に考えをまとめる。 ○これらの歴史的事項に関する出来事や人名などの知識を習得する。	○教科書p.43～49を読み、次の問いについて調べたり考えたりしたことをまとめる。 ①ローマ帝国の発展と変容に関して重要であったと思われる政策や出来事をまとめ、自身の考えを述べる。 ②キリスト教の成立と展開についてまとめる。 ③ローマ文化と現代とのつながりについて、教科書の記述等を参考にして指摘する。 *詳細は、G Suiteの指示を参照する。	○レポートの内容・振り返りを次の評価規準により評価し、学期及び年間の評価材料とする。 ・学習の目標にある事項について、主体的に学習する姿勢を示している。(関心・意欲・態度) ・学習の目標にある事項について、自ら問いを立て、諸資料を適切に活用してレポートを作成している。(思考・判断・表現)(資料活用の技能) ・学習の目標にある事項について、基本的な知識事項を適切にまとめている。(知識・理解)
	日本史 B	中世社会の成立と文化の新機運	荘園公領制と武士団の形成	「4ステージ演習ノート日本史B」の4(中世社会の成立)P40からP45までを教科書(P74からp83まで)と日本史図表(P106からP115まで)と史料日本史(P28からp37まで)などを参照し問題を解く。	「4ステージ演習ノート日本史B」の課題を行い授業再開後に提出する。課題の学習状況を評価に入れる。
	地理 A				
公民	現代社会		青年期について、自分の生きている時代として主体的に理解を深める。	pdfプリント「現代社会 青年期とは」にとりくみましょう(教科書をよく読む)。	・積極的・主体的に課題にとりくんでいる。 ・青年期についての大枠が理解できている。
数学	数学 II	○2次方程式 pp22～36 ○高次方程式 pp37～41	○2次方程式 ・複素数の四則計算の方法を理解する。 ・2次方程式の解の公式を理解する。 ・2次方程式の解の判別の仕方を理解する。 ・2次方程式の解を求めることができる。また、解と係数の関係を利用して問題を解くことができる。 ○高次方程式 ・剰余の定理やその利用法を理解する。 ・因数定理やその利用法を理解する。 ・高次方程式の解法を理解する。 ・高次方程式の実数解や複素数解を求めることができる。	新しい課題はありません。 5月分の課題(5月15日出題) (標準クラス)数学II問題集PP5～18のA問題を解いて提出する。 (発展クラス)数学II問題集PP5～18のA問題とB問題を解いて提出する。 ※5月31日以降の登校日に提出する。(途中経過を書くこと。)	提出課題に主体的に取り組む姿勢を評価する。 (関心・意欲・態度等)
	数学 B	○数学B導入	これまで学んだ内容のうち、数学Bで用いる基本的な計算をできるようにする。	プリント5枚目(5月28日締め切り)	これまで学んだ内容のうち、数学Bで用いる基本的な計算ができたか。
理科	生物基礎	○遺伝情報の発現	○遺伝情報を担う物質であるDNAについて、転写と翻訳の概要から、生命現象において重要なタンパク質の合成について学習し、理解する。	○教科書P66～P77を読み、HP上に掲載されているプリントの空欄部分1～73の適語をノートまたはレポート用紙に解答する。 ※クラスルームでも同様の課題を掲示。	○課題の内容などを次の評価規準により評価し、学期及び年間の評価材料とする。 ・学習の目標にある事項について、主体的に学習する姿勢を示している。(関心・意欲・態度) ・学習の目標にある事項について、諸資料を適切に活用して課題を作成している。(思考・判断・表現) ・学習の目標にある事項について、基本的な知識事項を適切にまとめている。(知識・理解)
	物理	熱とエネルギー	熱と温度、仕事等の基本的な関係を学習し、それらと力学的エネルギーの関係について理解する。	教科書 P123 「ヒートポンプ」、「不可逆変化」、「永久機関」からテーマを1つ選び、レポート用紙1～2枚にまとめる。(できる範囲で調べる) 授業再開後に提出する。	・主体的に学習に取り組んでいる。レポートの丁寧な作成と提出(関心・意欲・態度) (知識理解)(思考・判断・表現)

	化学	○酸と塩基 ・中和反応と塩	○酸と塩基の性質を理解した上で、中和反応とその反応で生じる塩の特徴等について、理解する。	○化学基礎の教科書P120～127を読み、ベストフィット化学基礎『P89～90の類題149・150・151』『P96の類題160・161・162』をノートまたはレポート用紙(ルーズリーフ)に解答する。また、発展課題に挑戦する者は教科書P180～181の問題を同様の方法で解答する。 【提出時の注意】 必ず「クラス」「出席番号」「氏名」を表記する。レポート用紙(ルーズリーフ)は左上にホチキス留めをする。これまでの課題も同様の処理をしておくように。	○課題の内容、振り返りを次の評価規準により評価し、学期及び年間の評価材料とする。 ・中和反応と塩について、意欲的に探究しようとする姿勢を示している。(関心・意欲・態度) ・中和反応の特徴から、それに関する事象や例について考察できる。(思考・判断・表現) ・中和滴定に関する器具の使い方や注意事項を身に付けている。(技能) ・中和反応の特徴について、基本的な概念を理解し、知識を身に付けている。(知識・理解)
保健体育	体育	○体育理論 3単元 豊かなスポーツライフの設計	豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解すること。	保健体育の教科書(現代高校保健体育)P. 158～171の中から興味のあるテーマを決め、レポートを作成する。 テーマの例(教科書の単元から抜粋) 生涯スポーツの見方・考え方。ライフスタイルに応じたスポーツ。日本のスポーツ振興。スポーツ環境。 レポート作成にあたって 1. A4サイズ。枚数は表紙を入れて2枚以上。表や図の挿入など、書式自由。 2. 表紙をつけること(テーマ、学年、クラス、番号、名前) 3. 手書きであること 4. 考察(感想や考えたこと)を入れること 5. レポートの最後に「参考文献」を入れること	レポートの内容により、「知識・理解」「思考・判断」の観点で評価する。 【評価規準】 ・豊かなスポーツライフの設計の仕方について、必要な情報を比較したり、分析したりしてまとめた考えを説明することができる。(思考・判断) ・豊かなスポーツライフの設計の仕方について、書き出すことができる。(知識・理解) 提出：学校再開後・提出 (こちらから指示します)
	保健	3単元 社会生活と健康 3. 健康被害の防止と環境対策	健康への影響や被害を防止するためには、汚染物質の排出をできるだけ抑制したり、排出された汚染物質を適切に処理したりすることが必要であることを理解する。	①保健体育ノートP. 88の問題に取り組む ②NOTE(右側ページ)に学んだことや感想を書く。	提出されたノートの解答や記述等から、「知識・理解」「思考・判断」の観点で評価する。 【評価規準】 ・健康被害の防止と環境対策について、資料等で調べたことを基に、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明することができる。(思考・判断) ・健康被害の防止と環境対策について、理解したことを記述している。(知識・理解) 【提出】 学校再開後、保健体育ノートを提出する。
芸術	音楽Ⅱ	○沖縄民謡に親しもう ○楽典	○沖縄特有の旋律やリズム、楽器について知る。 ○楽譜を読む上で必要な知識を習得し、今後の表現活動に生かせるようにする。	①振り返り・目標立てでのレポート作成 ②沖縄民謡についてのレポート作成 ③楽典課題(PDFを印刷して取り組むこと) ※詳細は、G Suiteの指示を参照する。	○レポートの内容・振り返りを次の評価規準により評価し、学期及び年間の評価材料とする。 ・沖縄民謡に関心をもち、意欲的にレポート作成に取り組んでいる。(関心・意欲・態度) ・音楽表現するために必要な音楽的な知識を持っている。(表現の技能)
	美術Ⅱ				

外国語	コミュニケーション 英語Ⅱ	Lesson 2 Dogs as Human Companions Part3 (p. 20-p. 21)	古代から現代までのイヌと人間との関係について英語の文章を読んで適切に理解することができる。	<p>①『New One World Ⅱ』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P. 20 part3の本文をノート（あるいはルースリーフ）に書き写し、自分なりに日本語で要点をまとめる。 ・P. 20 part3の単語確認リストを作成する。 →左側の単語のリストをはじめ、分からなかった単語の意味を調べて自分なりに整理してください。 ・P. 21の問題『practice』に取り組む。（答えだけでなく完成した英文を書いてください。） <p>②『Word Navi 3000』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Unit63-Unit67 の単語の例文をノート（あるいはルースリーフ）に書き写す。 ⇒過去の範囲に戻りました。 ・意味が分かるように・スペルが書けるように準備しておく。 <p>①・②の課題はノート・ルースリーフで一つにまとめて提出してください。</p>	<p>○提出された課題を評価資料として参考にします。</p> <p>古代から現代までのイヌと人間との関係について英語の文章を読んで適切に理解したか。</p> <p>【大事な連絡】 課題の提出ですが、4月から出ていた課題は、全てまとめて学校再開時に提出してください。ノート（またはルースリーフでホチ留め）で一つにして提出してください。週ごとに分けないでください。 なので、個別登校可能日に英語の課題を提出する必要はありません。 *英語表現Ⅱとは別にしましょう。</p>
	英語表現Ⅱ	Review Exercises① P. 18-P. 19	・L1-L4の文法事項をその目的に応じて的確に用いることができる。	<p>①『BIG DIPPER English ExpressionⅡ』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P. 18-P. 19の問題に取り組んでください。（答えだけでなく完成した英文を書いてください。） <p>②『スクランブル英文法・語法』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P. 58-P. 61 第4章「助動詞」 左側の問題 番号「109～118」に取り組み、 完成した英文を書き写す。 <p>①・②の課題はノート・ルースリーフで一つにまとめて提出してください。</p>	<p>○提出された課題を評価資料として参考にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・L1-L4の文法事項をその目的に応じて的確に用いることができたか。 <p>【大事な連絡】 課題の提出ですが、4月から出ていた課題は、全てまとめて学校再開時に提出してください。ノート（またはルースリーフでホチ留め）で一つにして提出してください。週ごとに分けないでください。 なので、個別登校可能日に英語の課題を提出する必要はありません。 *C英語Ⅱとは別にしましょう。</p>
総合的な探究の時間					